

<地区名>東部

<園名>篠ヶ瀬幼稚園

<研修主題>

保育者が自然遊びの引き出しを豊富に持ち、子どもたちのために豊かな保育環境を整備する

<設定理由>

どの園においても、自園の中の環境を最大限に活かして保育をしていることと思います。環境の中でも特に自然に着目し、幼児が自然への興味関心を持つための環境整備とは具体的に何があるか、自園での実践を踏まえ他園や講師の先生をお招きして、自然遊びの引き出しを増やしていきたいと考えました。

<研修の進め方>

- ① 自園内で自然環境を豊かにするための整備を進める
- ② 環境教室の講師をお招きして、園内の自然に親しんだり知識を身につけたりして、興味や関心を深める
- ③ 講師の先生をお招きして「自然遊びの引き出しをふやそう！」と題して講演会（ワークショップ）を開催する。

<実践報告>

- ① 園内の自然環境を整備した



- ② 6月と11月に環境教室を開催し、園内の自然に親しんだ



- ③12月10日（金）に常葉大学 短期大学部 保育科准教授 遠藤知里先生をお招きし、講演会を行った。他園より9名、本園より12名参加し、パワーポイントを使用しての講演を聴講した。

講演後、3つのグループに分かれ、遠藤先生に準備して頂いた植物と本園の園庭等で栽培した植物を使用した体験ワークショップを行った。





<ほわほわであそぼう>

竹ひごと糸を使って弓を作り、糸の近くに綿を置き、糸をはじく。

しばらくはじいていると、綿がほわほわになり、とても柔らかい感触になった。

<紅葉であそぼう>

紙を2つに折って植物を挟みすりこぎで叩いたり、植物の上に紙を置いてクレヨンでこすったりした。

葉や花が浮き出してくる様子を見たり、香りを楽しんだりした。



<奏でよう・聴いてみよう>

身近な素材と種や落ち葉を使用し、音の出るものを作った。

入れ物や、中に入れるものを変えて、音の違いを楽しんだ。



グループワーク「体験コラージュ」

五感に関する気づきを、付箋に書き模造紙に貼っていった。

内容をグループ内で共有し、今後の保育にどのように活かせるかを模造紙に書いたり、話し合ったりした。

